



5 台風と天気の変化

(平成 23 年度版)

東京書籍 5 年 9 月下旬～10 月上旬 3 (4) 時間

【単元の目標】台風による強風や大雨と、それがもたらす災害に興味をもち、台風の進路と天気の変化について、テレビや新聞、インターネットなどからの情報や教科書の資料などを活用して調べ、台風は西から東への天気の変化のしかたとは異なる特有の動きをすることをとらえることができるようにする。また、台風による災害例などについて、教科書や地域にある資料などを調べ、災害に対する備えや情報活用の重要性に気づくことができるようにする。

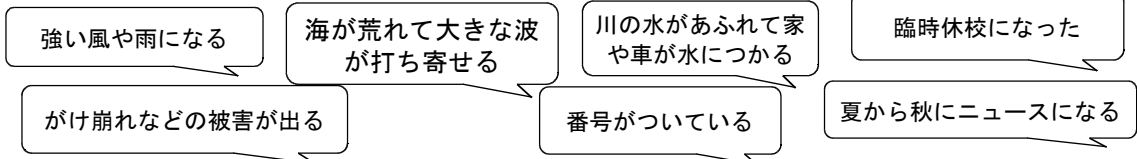
学習活動とポイント項目

学習活動	時間	ポイント項目
第 1 次 台風によって天気はどう変わるか	3 (4) 時間	
・台風による天気の変化と災害、台風の進路について話し合う。 ・資料写真を見て、台風の進み方と天気の変化について調べる。 〈実際に台風が近づいているときは、その進路予想を扱う。〉 【観察①】	1 1 (2)	1 導入について 2 「パラパラ天気」を作ろう  CDに収録
・台風の進路と天気の変化、台風による災害についてまとめる。	1	【参考】1996年からの気象画像を参照できるホームページ  リンクをCDに収録

1 導入について

天気について「1 天気の変化」で雲の動きは主に西から東に動くことを学習している。本単元で学習する台風は、その規則性が当てはまらないことを学ぶ。台風について知っていることを引き出し、学級間で共有化した後で台風の進路について予想するようにしたいと考えた。児童は自分の予想を確かめようと観察①に取り組み、その活動が主体的になると考えた。

○教科書p. 58, 59の台風16号や16号がもたらした高波の写真を見て、台風について知っていることをノートにまとめさせたり、発表させたりする。



○次に台風の雲が日本列島に到達していない気象衛星ひまわりの画像を提示する。



※画像では台風がどこにあるのかを雲の様子で確認する。
※画像については

【参考】1996年からの気象画像を参照できるホームページ

<http://weather.is.kochi-u.ac.jp/wiki/archive>

○君たちは、気象予報士です。自分たちの住んでいる宮城県に台風の影響はあるでしょうか。天気予報をしてみましょう。

- ・雲は西から東に移動するから影響はないよ
- ・この後の台風の動きが分からないから、分からないよ

※台風の進み方や天気の変化などの情報を集める方法を話し合い、観察①の計画を立てる。

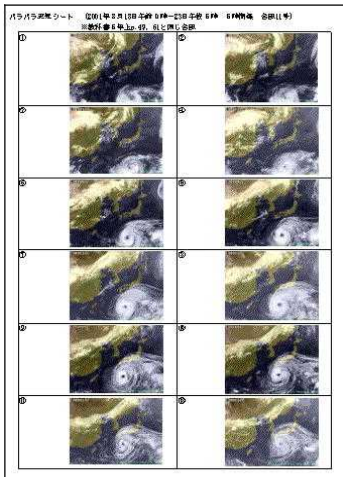
2 「パラパラ天気」を作ろう

気象衛星ひまわりの画像をパラパラ漫画のようにアニメーション化して、天気の変り変わりを連続的に見ることができるので、台風の進路を確認することもできる。インターネットなどでもアニメーションで配信されているが、自分専用の「パラパラ天気」を手作りすることで、天気の変化により関心をもたせたり、楽しみながら学習内容を確認させたりすることができる。

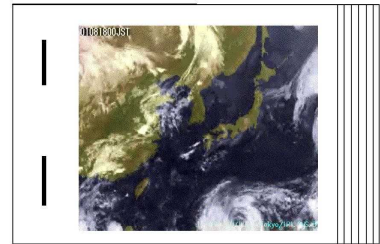
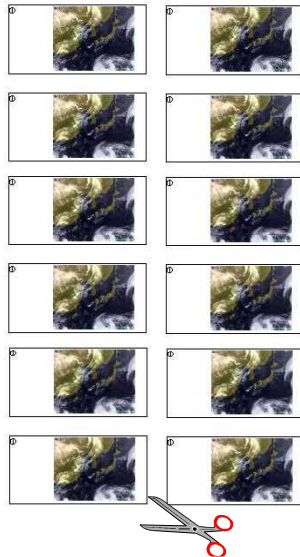


パラパラ天気の作り方

- ①次ページにある「パラパラ天気」シートを印刷する。
- ②「パラパラ天気」シートをはさみで切る。
- ③順番に重ね、ホチキスで固定する。



※ケント紙の紙厚は157.0g/
m² 0.175mmを使用する。



画像がなめらかに動くように紙の重なりを調整する。

※「パラパラ天気シート」は宮城県教育研修センター科学巡回訪問ホームページ内にある「デジタル教材」のページからダウンロードすることもできる。

<http://midori.edu-c.pref.miyagi.jp/science/>

まとめ方の例

台風は日本の南の方で発生し、やがて北や東の方へ動くものがある。
(台風の進路は規則性が当てはまらないので注意)

【参考】1996年からの気象画像を参照できるホームページ

- ・高知大学気象情報頁 研究・教育のための書庫
- <http://weather.is.kochi-u.ac.jp/wiki/archive>



「おなじみ日本近の画像」がよい



パラパラ天気シート (2004年8月26日午前2時~9月1日午前2時 基本6時間毎 台風16号)
 ※教科書5年p. 60, 61と同じ台風

